中華人民共和国

北京理工大学生命学院

School of Life Science, Beijing Institute of Technology

●学部学生 16,600人　●大学院生 13,400人　●教職員 3,080人　●留学生 1,500人

ホームページ　http://www.bit.edu.cn/

交流協定締結年月日：2012年10月24日　　主管学部：創造工学部

北京理工大学キャンパス風景

国際交流の特色

北京理工大学は1940年に創立の国立大学で、歴史が長い大学である。4学部、19学院を有し、学士課程専門分野は65、修士課程専門分野は172、博士課程専門分野は100ある。学生総数約25,000人のうち、学部学生は約14,000人、大学院学生は約11,000人、長期留学生は約1,000人で、研究を中心とする大学である。

双方の学術交流を拡大・推進するために、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などを実施していく。学術交流を行うことによって、全学の国際交流および国際貢献に寄与し、国際化および活性化をいっそう促進する。2020年8月に北京理工大学にてIEEE ICMA 2020国際会議を共同開催する。

交流実績（平成２８年度～３０年度）

年度 / 受入・派遣	H28	H29	H30
学生の受入	0	4	0
学生の派遣	7	0	8
研究者・職員の受入	2	6	1
研究者・職員の派遣	12	13	10

教員からの声

北京理工大学とは、2012年10月24日に交流協定を締結し、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などの実施を活発に行っている。特に、北京理工大学の優秀な学生が、大学院工学研究科博士前期課程及び博士後期課程に入学できるよう、文部科学省が設けている国費外国人留学生に大学推薦し、博士課程の充実に寄与したい。また、国際共同研究を実施するため、北京理工大学から1名の教員を香川大学の特命教授として招聘したり、本学工学研究科の博士後期課程修了生4名が北京理工大学の准教授になったりと、 2019年3月に香川大学の6名学生らが北京理工大学を訪問した。今後も両大学間の研究教育交流が良い成果を得られることを期待している。今後も両大学間の研究教育交流が良い成果を得られることを期待している。

創造工学部教授　郭　書祥

研究者からの声

私は2011年10月～2012年3月まで外国人研究者として香川大学に滞在した。郭研究室で「医療・健康ライフ支援システムに関する研究」というプロジェクトに参加していた。

本学において，脳神経外科分野に優れたバイオ・医療用マイクロ・ナノシステム開発動向に関する研究調査を行うとともに遠隔支援システムの制御及び特性評価を行った。また、本プロジェクトに参加している学生達の研究指導や助言などを行った。以前の僕には想像もつかなかったが、研究室の人は毎日一生懸命に研究を行っていた。

今後の両大学間の益々の研究教育交流を期待している。

李　晓琼